

# 年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド

## <愛称 DC Iグロース>

追加型投信／海外／株式

### 交付運用報告書

第23期（決算日2024年4月25日）

作成対象期間（2023年4月26日～2024年4月25日）

第23期末（2024年4月25日）	
基準価額	53,044円
純資産総額	6,191百万円
第23期	
騰落率	46.6%
分配金（税込み）合計	0円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド」は、2024年4月25日に第23期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な観点から、MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）の動きを上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

&lt;958417&gt;

### 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

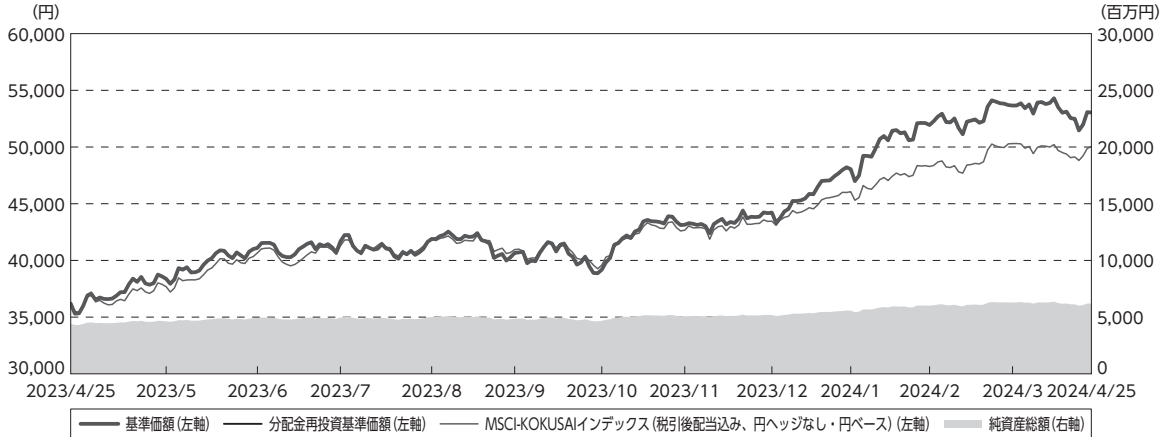
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2023年4月26日～2024年4月25日)



期 首 : 36,195円

期 末 : 53,044円 (既払分配金 (税込み) : 0円)

騰落率 : 46.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) は、期首 (2023年4月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) は当ファンドのベンチマークです。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ベスト・バランス/海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な観点から、MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) の動きを上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

### <値上がり要因>

- ・インフレ減速で金融引き締め長期化懸念が後退し、欧米の中央銀行による利下げ期待が強まり幅広い地域で株式が買われたこと。
- ・生成AI (人工知能) の需要急増で成長期待が高まった半導体関連株、肥満症治療薬を手掛ける製薬株が大幅に上昇し、指数をけん引したこと。
- ・日米金利差の拡大を背景に円安が進行したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・インフレの長期化観測を背景に一時米国長期金利が急上昇し、株式の相対的な割高感が嫌気されリスコオフの動きが広がったこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2023年4月26日～2024年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 858	% 1.980	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(381)	(0.880)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(429)	(0.990)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	( 48)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 4)	(0.009)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	2	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	( 2)	(0.006)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	30	0.068	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 28)	(0.064)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 2)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	894	2.063	
期中の平均基準価額は、43,323円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

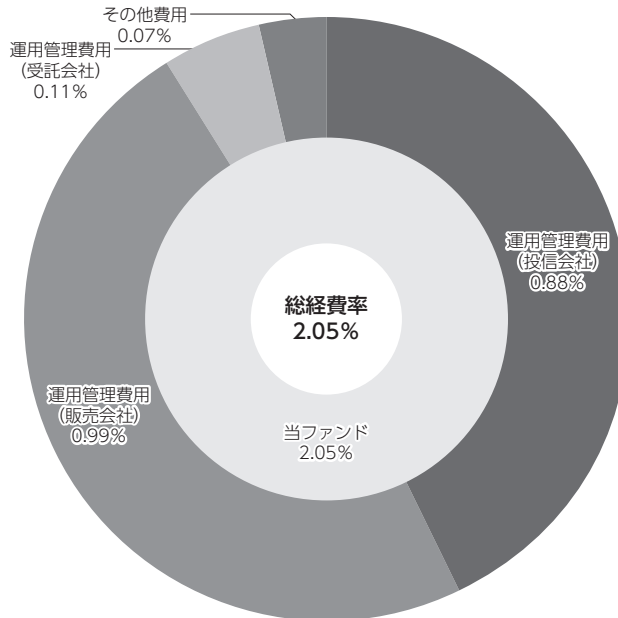
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.05%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

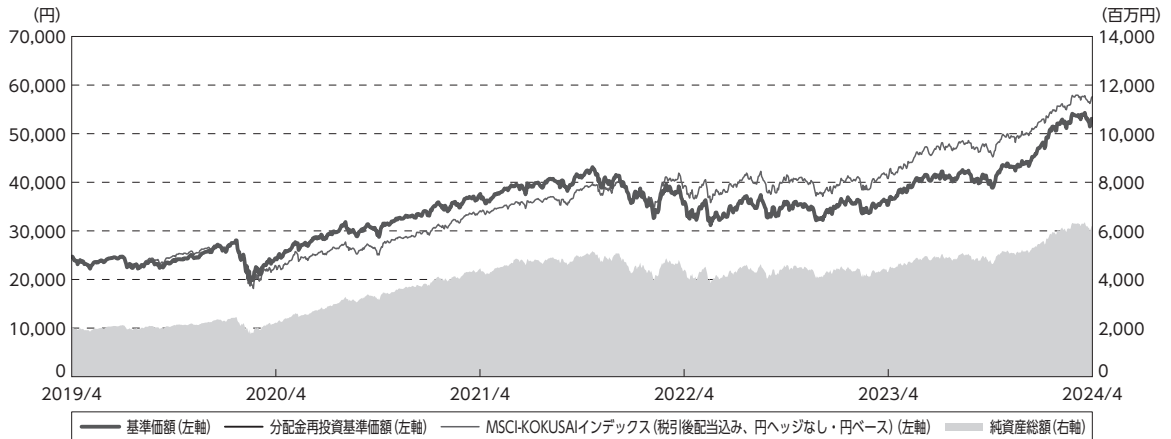
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年4月25日～2024年4月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）は、2019年4月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年4月25日 決算日	2020年4月27日 決算日	2021年4月26日 決算日	2022年4月25日 決算日	2023年4月25日 決算日	2024年4月25日 決算日
基準価額 (円)	24,705	23,805	36,830	36,804	36,195	53,044
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	10	10	10	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 3.6	54.8	△ 0.0	△ 1.7	46.6
MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	△ 10.6	52.0	19.6	3.8	38.3
純資産総額 (百万円)	2,028	2,173	4,355	4,501	4,414	6,191

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

## 投資環境

(2023年4月26日～2024年4月25日)

## (株式市況)

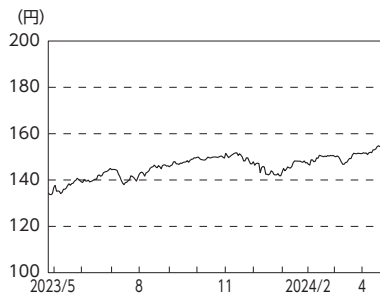
期間中のグローバル株式市場は上昇しました。

世界的な金融引き締めによる景気後退懸念が重荷となる中、景気に左右されにくいディフェンシブ株が下支えし、もみ合う展開が続いたのち、生成AIの需要拡大で成長期待が高まった半導体関連株を物色する動きが活発化し上昇しました。その後も市場予想を上回る決算が相つぎ上昇基調で推移しましたが、米国国債の格下げを受けて下落に転じると、米中対立激化、中国の景気減速、原油高によるインフレの長期化懸念が重荷となりました。米国長期金利は一時5%台をつけるなど、金利の高止まり観測が警戒され、株式市場は相対的な割高感からハイテク株や高配当株を中心に下げ足を早めました。しかし2023年11月に入りインフレ減速を背景に米国長期金利が大幅に低下すると、買い安心感が広がり株式市場は切り返しました。その後も米国連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受け早期利下げ観測が強まったことから、米国経済が軟着陸できるとの期待が膨らみ、投資家は急速にリスクオン姿勢を強めました。引き続き成長期待の高い半導体関連株が選好されたほか、肥満症治療薬の需要拡大期待から製薬会社も大幅に上昇し、指数を押し上げました。市場予想を上回る企業決算の底堅さと早期利下げ観測を支えに高値を迫る展開が続きましたが、2024年4月に入ると米国の利下げ観測の後退が嫌気され、上げ幅をやや縮めて期間末を迎えました。

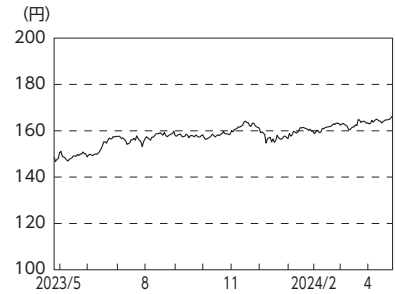
## (為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2023年4月26日～2024年4月25日)

## (当ファンド)

当ファンドは、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

## (ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き（MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース））を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないました。銘柄選定においては、原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力しました。

また、産業間、投資対象国間で資産配分を図ることによりリスクの低減に努めました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年4月26日～2024年4月25日)

期間中における基準価額は、46.6%の値上がりとなり、ベンチマークである「MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）」の上昇率38.3%を概ね8.3%上回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

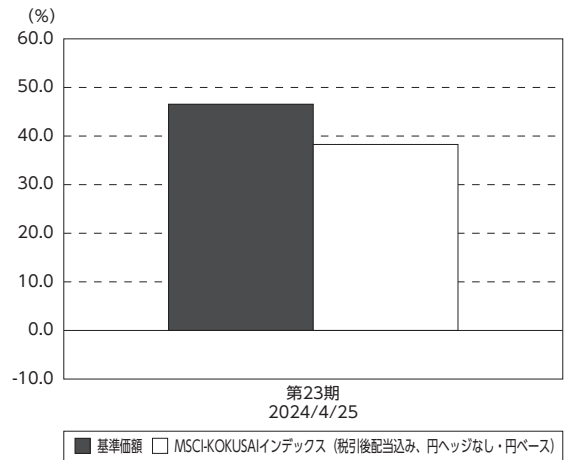
## &lt;プラス要因&gt;

- ・銘柄選択では、情報技術セクターや資本財・サービスセクターなどにおける銘柄選択がプラスに寄与しました。
- ・銘柄では、米国の配車サービス会社「Uber Technologies」、米国に本社を置く世界的なeコマース会社「Amazon.com」、米国のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）運営会社「Meta Platforms」がプラスに寄与しました。
- ・業種配分では、コミュニケーション・サービスセクターのオーバーウェイト、生活必需品セクターのアンダーウェイトがプラスに寄与しました。

## &lt;マイナス要因&gt;

- ・銘柄選択では、素材セクターや金融セクターなどにおける銘柄選択がマイナスに影響しました。
- ・銘柄では、米国の医療機器メーカー「Insulet」、マカオ、シンガポールで事業を展開する、米国のカ

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCI-KOKUSAIインデックス（税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドのベンチマークです。

ジノ運営会社 [Las Vegas Sands]、米国の遺伝子機能・変異の解析ツール開発会社 [Illumina] がマイナスに影響しました。

- ・業種配分では、不動産セクターのオーバーウェイト、金融セクターのアンダーウェイトがマイナスに影響しました。

## 分配金

(2023年4月26日～2024年4月25日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりいたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第23期
	2023年4月26日 ～2024年4月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	43,044

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### (ベスト・バランス／海外株式マザーファンド)

引き続き、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ない、中長期的な観点から、世界の株式市場全体の動き(MSCI-KOKUSAIインデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース))を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行なう方針です。原則として、企業収益の加速、成長局面の評価に焦点をあてたファンダメンタルズ調査に基づくボトムアップの銘柄選択に注力していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



## お知らせ

2023年4月26日から2024年4月25日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、新NISA制度における成長投資枠の要件に適合させるため、当該ファンドにて行なうデリバティブ取引および外国為替予約取引の利用目的を明確化すべく、2023年7月26日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第20条、第21条、第22条、第27条)

当ファンドについて、2024年1月26日付けにて運用目標とするベンチマーク表記を「MSCI-KOKUSAIインデックス (円ヘッジなし・円ベース)」から「MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」に変更いたしました。

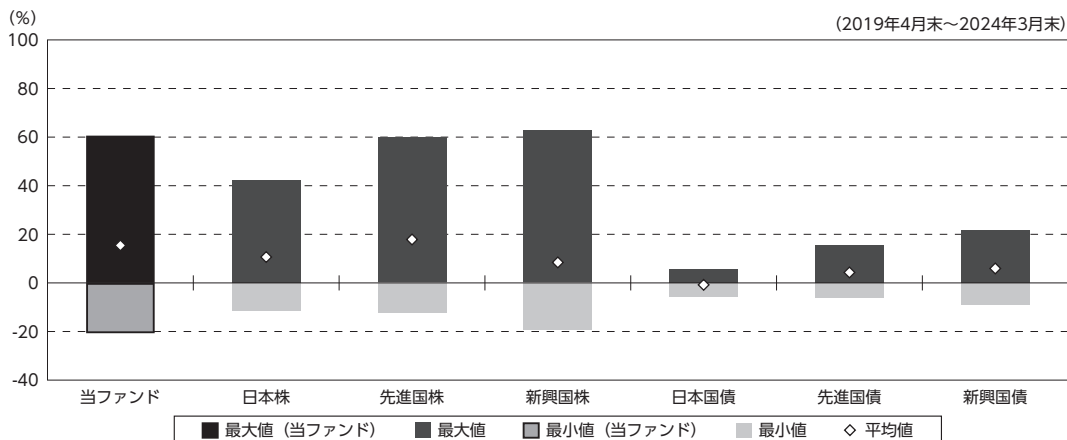
当ファンドに関して、当該ベンチマークが「配当込み」の値動きであることを明確化するとともに、投資する海外資産から配当を受け取る際には税金が控除されるという運用実態と平仄を合わせることが受益者にとってわかりやすい情報開示となり、より適切な投資判断につながるとの考えから、このたび変更いたしました。(付表)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2001年10月25日から原則無期限です。	
運用方針	主として「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、「MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)」を上回る投資成果をめざします。	
主要投資対象	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ベスト・バランス／海外株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、「ベスト・バランス／海外株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な観点から、MSCI-KOKUSAIインデックス (税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース) の動きを上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。グローバルな視点で企業調査、比較を行ない、世界各国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に、産業の先導的立場にある高い質の大型成長企業に厳選投資を行ないます。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.6	42.1	59.8	62.7	5.4	15.3	21.5
最小値	△20.7	△11.4	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8
平均値	15.4	10.7	17.9	8.4	△0.8	4.3	5.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年4月から2024年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X総研又は株式会社 J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2024年4月25日現在)

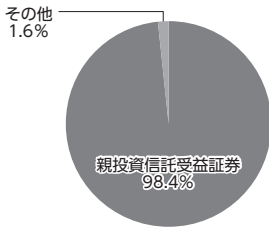
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第23期末
ベスト・バランス／海外株式マザーファンド	98.4%
組入銘柄数	1銘柄

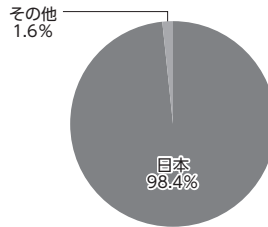
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

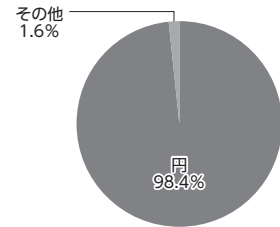
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

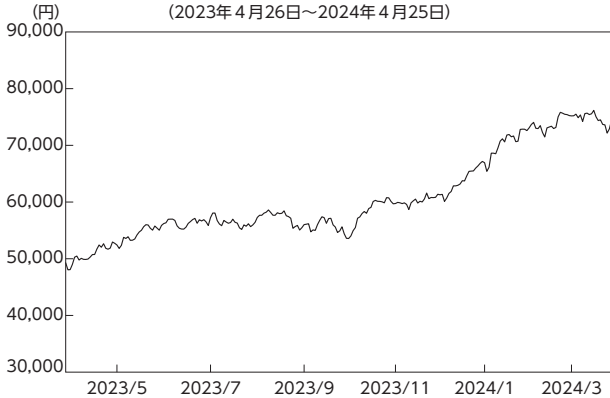
項目	第23期末
	2024年4月25日
純資産総額	6,191,185,751円
受益権総口数	1,167,171,474口
1万口当たり基準価額	53,044円

(注) 期中における追加設定元本額は203,281,725円、同解約元本額は255,715,841円です。

組入上位ファンドの概要

ベスト・バランス／海外株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年4月26日～2024年4月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	6 (6) (0)	0.010 (0.009) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	4 (4) (0)	0.006 (0.006) (0.000)
(c) その他費用 (保管の費用) (他)	39 (39) (0)	0.066 (0.065) (0.000)
合計	49	0.082

期中の平均基準価額は、59,879円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

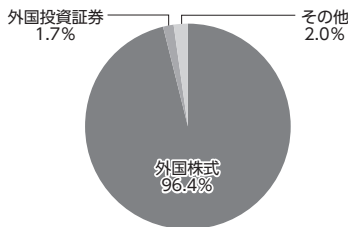
【組入上位10銘柄】

(2024年4月25日現在)

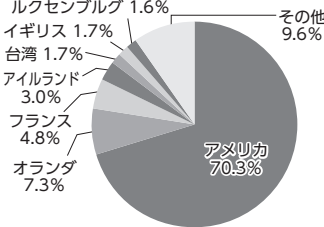
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売	アメリカドル	アメリカ	6.3
2	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	5.9
3	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.1
4	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	5.0
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	4.0
6	MASTERCARD INC - A	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	3.2
7	ELI LILLY & CO	医薬・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	3.1
8	UBER TECHNOLOGIES INC	運輸	アメリカドル	アメリカ	2.8
9	ADVANCED MICRO DEVICES	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	2.4
10	AIRBUS GROUP SE	資本財	ユーロ	オランダ	2.1
	組入銘柄数		56銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

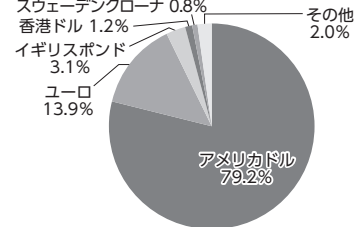
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。  
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。